



芦高 Times

AUSS: Ashiya Upper Secondary School

平成27年度 第8号 12月号
発行/県立芦屋高等学校
芦屋市宮川町6番3号

AUSSキャンパス・インターンシップ

11月12日(木)の5・6・7限にAUSSキャンパス・インターンシップが、1・2年次(720名)を対象に行われました。これは芦高生の知的好奇心を刺激し、進路目標を明確に持たせるための行事です。AUSSキャンパスでは、北は北海道の酪農学園大学、南は九州の南九州大学など21大学から講師の先生をお招きして、「犬猫の健康を守る食事とは」「植物の役割と自然環境の保護」「法学入門」など30講座が開かれました。生徒からも「今回の講義でますます心理学への興味が深まりました」等の感想が寄せられました。

また、AUSSインターンシップでは、公務員希望者5名の生徒が芦屋市防災安全課を訪れました。



芦屋喜楽苑との交流会

10月27日(火)の定期考査最終日に、芦屋喜楽苑を自治会執行部、茶道部、ボランティア部、家庭科研究部、書道部、邦楽部が訪問しました。訪問も今年で14回目となり、茶道部のお茶のお手前、ボランティア部のハンドベル、書道部のパフォーマンス、邦楽部の琴の演奏など多彩なバリエーションに富んでいました。また、喜楽園の方と芦高生とのプレゼント交換などもあり、終始和やかに交流会は進みました。喜楽苑の方も毎年の訪問を楽しみにして頂いています。



人権講演会

11月19日(木)に、1年次生は、人権教育の一環として映画「60万回のトライ」を芦屋ルナホールにおいて鑑賞しました。

大阪朝鮮高級学校ラグビー部に3年間密着したドキュメンタリー映画です。授業料無償化からの排除や支援金停止等の社会的な問題、仲間の怪我等の試練を乗り越えながら全国制覇を目指すという内容です。同じ年代の高校生のこうした姿勢を観て、本校生も多くのことを感じたと思います。

上映後は朴思柔(パク・サユ)・朴敦史(パク・トンサ)両監督とのパネルディスカッションを行い、終始和やかな雰囲気の中で、さらに深く在日朝鮮人の現実、歴史や民族問題について学びました。



学校設定科目「身の回りの科学」紹介

後期テーマ「伝承文化の研究」において「発酵技術」を取り上げ、日本では数少ない製パンマイスター(独)の資格を取得された松崎太氏を講師としてお招きしました。

1日目は、松崎講師がドイツでパン職人を志された経緯、パン作りに対する独自の思考と経営を語って頂いた後、3種類のパンを試食しました。2日目は、松崎講師の指導のもと、工房で製粉されたオーガニック全粒粉を使用してパンづくりを体験しました。

松崎氏の授業は、今回で6年目になりますが、授業を受けた生徒から「クロワッサンには衝撃を受けた」「なんかとても優しい味がした」などの声が寄せられました。



部活紹介

弓道部

「正射必中」。矢は正しく射れば必ず的に中ります。弓道の魅力は、心のあり方・弓の引き方において、古くより伝わる「正しさ」を一途に追求し、それに近づいていく楽しさにあります。芦高弓道部の最高目標は、一本の矢を放つことを通じて、一番美しい自分を表現すること。そして見て下さる方に感動を与えること。的中や勝利はあとからついてくるものと信じています。

本年度部員数:56名

(男子18名、女子38名)

稽古:芦屋市立弓道場及び校内

仮設弓道場で週6日実施

主な戦績:県総体女子団体5位入賞。



鉄道研究部



終戦後すぐの昭和20年秋に、現在の兵庫県立芦屋高等学校の前身の芦屋中学に鉄道研究部が発足。長い歴史の中で「鉄道好き」は年代を越えて脈々と受け継がれています。そして国鉄乗車券研究家の3期生池田和政氏、阪急電鉄元会長の13期生大橋太朗氏、鉄道評論家の25期生川島令三氏をはじめ、多くのOBを輩出しました。

現在鉄道研究部は部員8名が在籍しており、記念祭での展示や鉄道模型の走行会を行っています。

これからも積極的に活動していきたいと思っておりますので、興味のある人はぜひ鉄道の世界を見に来てください。



赤い羽根共同募金

私たち自治会執行部は、阪神芦屋駅、JR芦屋駅で3日間、阪急芦屋川駅で1日、赤い羽根の募金活動を行いました。

芦高の卒業生の方々や近隣の方々のお陰で約16万円も集めることができました。ご協力ありがとうございました。集まったお金は社会福祉協議会にお渡ししました。



- 1 / 8日(金) 全校集会
- 14日(木) センター試験事前指導
- 15日(金) カウンセリング
- 18日(月) センター試験自己採点
- 22日(金) カウンセリング
- 23日(土) 進研学力テスト
- 28日(木) 進路別説明会(2年次)

主な行事

